

◆ 公認心理師について

(1) 公認心理師とは

「公認心理師」は、心理系初の国家資格です。その業務や資格については、2017（平成29）年9月15日に施行された「公認心理師法」に規定されています。

「公認心理師」とは、公認心理師登録簿への登録を受けて公認心理師の名称を用い、医療・保健、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5領域において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって次に掲げる行為を行うことを業とする者のことです。

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- ② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

(2) 公認心理師になるためには

公認心理師の受験資格を取得するには、大学（学部）で所定の科目を履修して卒業した後、大学院においても所定の科目を履修し修了することが必要です（大学（学部）で所定の科目を履修して卒業した後、指定された施設で2年以上の実務経験を積むというルートもありますが、現在のところ「指定された施設」の数はきわめて限定されています）。その後、国家試験に合格することで、公認心理師の資格を取得できます。

大学（学部）における必要な科目 ※1		大学院における必要な科目 ※2	
カテゴリー	科目名	カテゴリー	科目名
A. 心理学 基礎科目	① 公認心理師の職責 ② 心理学概論 ③ 臨床心理学概論 ④ 心理学研究法 ⑤ 心理学統計法 ⑥ 心理学実験	A. 心理実践 科目	① 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ② 福祉分野に関する理論と支援の展開 ③ 教育分野に関する理論と支援の展開 ④ 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ⑤ 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ⑥ 心理的アセスメントに関する理論と実践 ⑦ 心理支援に関する理論と実践 ⑧ 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 ⑨ 心の健康教育に関する理論と実践
	B. 心理学発展 科目		⑦ 知覚・認知心理学 ⑧ 学習・言語心理学 ⑨ 感情・人格社会学 ⑩ 神経・生理心理学 ⑪ 社会・集団・家族心理学 ⑫ 発達心理学 ⑬ 障害者・障害児心理学 ⑭ 心理的アセスメント ⑮ 心理学的支援法
	⑯ 健康・医療心理学 ⑰ 福祉心理学 ⑱ 教育・学校心理学 ⑲ 司法・犯罪心理学 ⑳ 産業・組織心理学	B. 実習科目	⑩ 心理実践実習（450時間以上）
	⑳ 心理学 関連 科目	㉑ 人体の構造と機能及び疾病 ㉒ 精神疾患とその治療 ㉓ 関係行政論	
C. 実習演習科目	㉔ 心理演習 ㉕ 心理実習（80時間以上）		

※1 これらの科目は、前期課程（教養学部前期課程）と後期課程（文学部、教養学部後期課程、教育学部等）において開講されています。後期課程進学後は前期課程の科目を履修することはできません。隔年で開講される科目や、④⑤など履修制限のある科目もありますので、教育学研究科・教育学部ホームページを熟読し、学部入学時から計画的な履修を進めてください。

※2 これらの科目は、教育学研究科臨床心理学コースにおいて開講されており、すべて履修し修了するためには、当該コースに進学する必要があります。

各科目の開講の曜限等の詳細は、教育学研究科・教育学部ホームページに掲載しています。

(3) 特例措置について

公認心理師法施行前に大学院において省令で定める科目を履修・修了した者、また、施行前に大学において省令で定める科目を履修・卒業し、法施行後に大学院において省令で定める科目を履修・修了した者あるいは省令で定める施設で所定の実務経験を行った者は、経過措置により受験資格が与えられます。経過措置及び科目読み替えの詳細は下記の教育学研究科・教育学部ホームページで確認してください。なお、2018（平成30）年度以降に入学した者については、上記の科目名がつけられている認定科目を履修する必要があります。

(4) 関連リンク

- 教育学研究科・教育学部 公認心理師について <https://www.p.u-tokyo.ac.jp/cg/psychologist>
- 一般財団法人 日本心理研修センター <https://www.jccpp.or.jp/Top.cgi>